

SystemVue ベーシック

Course Overview

SystemVue（エレクトロニック・システム・レベルデザイン用のシミュレーション・ツール）の操作、解析手順の基本を習得するコースです。



コース概要

SystemVue ベーシック・コースでは、SystemVue の核となるデータ・フロー解析のシミュレーションを通して、ユーザ・インターフェースの概要、シミュレーションの設定方法、グラフなどの結果表示の方法を学びます。また RF システム解析の手法についても学びます。

コース期間

1日間（基本操作とデータフロー解析、
もしくは、
基本操作とRFシステム解析）

～2日間（全て）

コースを通して学ぶもの

- SystemVue の基本操作（ユーザ・インターフェース概要、データ・フロー解析）
- MATLAB Scriptの使用方法
- Sweep, Tuning, Dynamic Sinkの使用方法
- RF システム解析の方法

コース構成

講義 40 % / 実習 60 %

対象者

- SystemVue を初めて使用する方
- 通信、信号処理解析を使用してシステムを設計される方

提供方法

お客様先/リモート

詳細はお問い合わせください。

前提知識

- Microsoft Windows の使用経験があること
- 信号処理、通信方式に関して基本的な内容を理解していること

コース内容詳細

• SystemVue の基本操作

SystemVue の基本操作方法を SystemVue の中心となるデータ・フロー解析コントローラを使用して説明します。

基本操作とは、

—ソフトウェアの起動

—デザインの作成

パーツの設定方法、デザイン上で使用できるデータの種類の説明をします。

—データ・フロー解析コントローラの設定

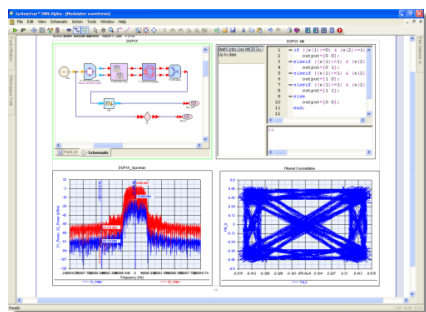
シミュレーションを実行する上で重要なサンプリング・レートやデータの取得時間の設定などを行うコントローラの設定に関して説明します。

—シミュレーションの実行

—結果の表示

表やグラフの表示方法に関して説明します。

また、実際にこれらの基本操作を簡単な例題 (QPSK 変調信号の作成/デジタル・フィルタの作成)を通して実習します。



• MATLAB Script の使用方法

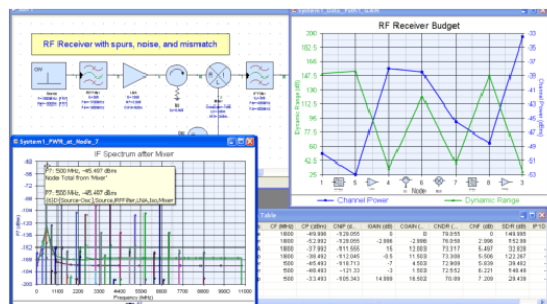
MATLAB Script とは、SystemVue 内で用いることのできるプログラム・スクリプト言語で、多くのビルトイン関数 (sin, fft など数学関数やファイル操作関数など) が用意されています。この MATLAB Script の使用方法に関して説明します。具体的には、MATLAB Script を用いてユーザ独自のモデルを作成する方法を説明し、実際に簡単なモデルの作成を実習します。加えて、設定などに利用する変数を定義したり、演算する Equation 機能についても説明します。

• Sweep, Tuning, Dynamic Sink の使用方法

SystemVue には、設定パラメータを連続的に掃引して結果を得たり、マニュアルで設定パラメータを Tuning しながら結果を確認することができます。また、データフロー解析ではシミュレーション実行中にスペクトラムや信号波形などの結果をリアルタイムで表示することができます (Dynamic Sink)。これらの機能を説明し、使用方法について実習します。

• RF システム解析の方法

SystemVue には、ブロック・レベルの RF シミュレータである Spectrasys シミュレータ機能 (レベルダイアグラム、スプリアスのルートコズ解析)、先のデータフロー解析とこの RF システム解析とを協調してシミュレーションする機能 (RF_Link)、WhatIF 周波数プランニング・ツールがあります。RF システム解析の方法では、これらの機能の使用方法を RF 送信機や受信機の作成を通じて習得します。



ご注意

- 本トレーニングには、シミュレーションの理論/原理についての講義は含んでおりません。
- 予告なしで内容が変更になることがあります。



詳細情報 : www.keysight.co.jp

キーサイト・テクノロジー株式会社

本社 〒192-8550 東京都八王子市高倉町 9-1

計測お客様窓口

受付時間 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祭日を除く)

TEL: 0120-421-345 (042-656-7832) | Email: contact_japan@keysight.com